

2022年02月28日

東急不動産株式会社

関東最大規模「LOGI'Q 狭山日高」竣工

大手 EC 企業の専用物流倉庫で従業員がより働きやすい空間を提案

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）は、シリーズ展開している物流施設『LOGI'Q(ロジック)』ブランド (<http://www.tokyu-logiq.com/>) において7棟目となる、テナント企業のニーズに応じて建築を行う BTS 型物流施設「LOGI'Q 狭山日高」（埼玉県狭山市）が2022年2月に竣工しましたことをお知らせ致します。



「LOGI'Q 狭山日高」外観写真



「LOGI'Q 狭山日高」鳥瞰写真

本物件は、狭山市の都市計画における狭山工業団地拡張地区内にあり、当社は土地区画整理段階から事業参画をしております。同じ拡張地区内には、東急グループ会社である株式会社セントラルフーズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長執行役員：土田 視朗）が食品工場を新設しており、本物件と両敷地に跨る従業員専用緑道も整備し、東急グループ一体の開発事業となっております。

LOGI'Q シリーズでは関東最大規模となる延床面積 34,439 坪、敷地面積 15,848 坪の物流施設となっており、首都圏中央道路自動車道「狭山日高 I.C.」から約 0.3 km、国道 407 号線から約 0.2 km と、首都圏をはじめ関東全域に配送可能な立地です。

また、建築計画においては、テナント企業様の既存物流センターにて従業員座談会を開催し、直にヒアリングを行うことで「従業員がより働きやすい空間」の提案を実現しました。LOGI'Q シリーズで初となるデザイナーを採用し、当社ビル「渋谷ソラスト」や、会員制シェアオフィス「ビジネスエアポート」でも実績のある「株式会社 SIGNAL（本社：東京都渋谷区、代表者：新海一郎、徳田純一）」監修のデザイン設計となっております。



緑道写真



航空写真（手前が㈱セントラルフーズの食品工場）

■ 免震構造

建物耐震対策として、LOGI'Q シリーズで初となる免震構造を採用し、災害時でも即時に物流機能を回復することができるBCP対策を施しております。



免震階

■ 共用部エリア

エントランスは、LOGI'Q の基本仕様であるルーバーにグリーンを装飾し、本地域の名物である狭山茶の茶畑をモチーフにしたアートを飾ることで、華やかな仕上がりとなっております。また、エントランスホールには、従業員連絡用掲示板や腰掛となるスツールを用意し、従業員が思い思いの時間を過ごすことのできる空間となっております。



エントランス



エントランスホール

広々とした従業員様専用のカフェテリアには、テーブル席やカウンター席から、ゆったりと過ごせるソファ席などの多様な席姿によって、全従業員にとって居心地よい空間を目指しました。

また、食事をとる座席の他に小あがりスペースを設け、足を延ばしてくつろげる休憩スペースとしました。その他に、気軽に身体を動かせるぶら下がり棒の設置や、壁に施設周辺のエリアマップをデザインするなど、従業員同士のコミュニケーション活性化を促す仕掛けを施しました。



カフェテリア



休憩スペース

LOGI'Q では過去のシリーズからも、誰もが過ごしやすい施設を目指し、オールジェンダーに配慮したトイレ設計を行っております。本物件では、無機質な空間になりがちなバリアフリートイレを、コンセプトのある空間にすることで、「誰もが入りたくなるオールジェンダートイレ」を目指しました。「狭山茶」のイメージを取り入れたデザイン設計となっております。



オールジェンダートイレ

■ LOGI'Q 狭山日高 物件概要

所在地：埼玉県狭山市広瀬台 4 丁目 5 番

用途地域：工業地域

主要用途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）

敷地面積：52,391.46 m²(15,848.42 坪)

延床面積：113,850.45 m²(34,439.76 坪)

建物構造：RC 造+S 造 4 階建

着工：2020 年 8 月 1 日

竣工：2022 年 2 月 28 日

設計：株式会社フクダ・アンド・パートナーズ

施工：株式会社フジタ関東支店

事業主：合同会社アリス ※東急不動産株式会社がプロジェクト・マネジメント業務を受託

トラックバス：41 台

駐車場：普通自動車 519 台、トラック待機場 27 台

